

女性が輝く 京都企業

7

ハマナカ



ウェア企画室長の宮本さん(中央)

女性社長就任とともに始まった改革で 誰もがそれぞれの場所で輝ける社風を醸成

創業昭和15年、手芸用品の製造販売で確固たる地位を築いてきたハマナカ。かつて女性社員のほとんどは結婚を機に退職をし、男性中心の企業体質だったが、平成23年4月、濱中知子氏の代表取締役社長就任を契機に一変した。女性社長ならではの視点を活かし、女性の管理職抜擢に始まり、さまざまな制度改革に着手。なかでも結婚、妊娠、あるいは介護などでキャリアが中断されることなく、男女ともに長く働き続けることができるよう、環境整備に力が注がれてきた。産休制度の充実に加え、昨年11月には在宅勤務の制度化が整い、フレックスタイム制も近く導入予定。制度は利用してこそ意味があると、社長自らが率先して制度利用を奨励した成果は、すでに退職社員の減少などに現れている。

一方、やる気のあるパートや派遣の人材に社員登用のチャンスを与える社員転換制度は、一連の改革よりやや早い段階で実施されていた。女性管理職として活躍しているウェア企画室長の宮本泰子さんは、この制

度によってパート勤務から正社員にキャリアアップを果たした第1号である。「勤務当初は、子どもが幼稚園だったので短い時間しか働けませんでした。子どもの成長とともにゆっくりと家族の理解を得ながら勤務時間を伸ばし、スムーズな転換ができました」と微笑む。管理職である今は商品企画から提案するウェアの企画と創作、テキストや作品集のプロデュース、販促イベント…と八面六臂の活躍ぶりだ。「部署間の壁がなく、情報共有や意見交換がしやすい環境。20代から70代まであらゆる層の女性スタッフがいて、刺激を受けます」。現在、企画部5部署のうち4部署の管理職を女性が占める。とはいえ適材適所で男性社員ものびやかに活躍。部署、男女にかかわらず、全員「編み物ができる」というのも、創造性と行動力に富んだ企業姿勢を象徴するようだ。手編み文化を次代へ継承するという企業ミッションを果たすべく、一人ひとりがワーク・ライフ・バランスをかなえながら積み上げたスキルを活かしていく理想の形が整いつつある。



代表取締役社長の濱中 知子さん



ハマナカ株式会社

代表者/濱中知子
住所/京都市右京区花園藪/下町2番地の3
TEL / 075-463-5151
URL / <http://www.hamanaka.co.jp>
事業内容/手芸手あみ糸・各種手芸材料の製造販売

従業員/150名(男性61名、女性89名)
管理職26名(うち女性4名)